

令和6年通常選挙 全国の区域内の理事の候補者

選挙公報【詳細版】

■全国の区域内の理事の候補者

- ①コールサイン : J G 2 G F X
②氏名(フリガナ) : 種村 一郎 (タネムラ イチロウ)
③年齢 : 79
④職業 : 会社員
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

1. J A R L 役員としてアマチュア無線と J A R L の活性化。
2. A R D F, 体験局などのアマチュア無線を通して青少年の人材育成と底辺の拡大。
3. H F 帯の運用。(海外運用を含む)

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

1. マンパワーの提供
株式会社の代表者として長年に亙り法人経営に携わってきた経験や知見を J A R L に提供できます。
2. 海外勤務経験の提供
海外勤務で得た多くの経験や人的交流のネットワークを通して、グローバルな視点に基づいたアドバイスを J A R L に提供できます。

■全国の区域内の理事の候補者

- ①コールサイン : **JG1KTC**
②氏名(フリガナ) : **高尾 義則 (タカオ ヨシノリ)**
③年齢 : **66歳**
④職業 : **無 (前JARL会長・無報酬)**
⑤無線従事者資格 : **第二級アマチュア無線技士**

力を入れている無線活動

アマチュア無線を始めて50年、移動運用を主に幅広い運用、各種コンテストにもフル参加、アマチュア無線を生涯の趣味として、多くの周波数やモードで積極的に楽しんで参りました。会長在任中は、この魅力ある趣味をさらに活性化したく、魅力や感動を多くの方に知っていただきたく、アマチュア無線を積極的に運用し、若年層はもとより幅広い年齢層の方々にアマチュア無線の魅力を伝え、周知啓蒙など積極的に取組んで参りました。私の無線活動の詳細については右のQRコードからお願いします。



JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

会員皆様主役の組織復活・満足度の向上・サービス復活！

■会員皆様の満足度の向上、会長在任中の実績を基に取り組めます！

会長在任中の7年間、会員皆様主役の組織運営を第一に、皆様の満足度の向上並びに会員皆様へのサービス向上、幾多もの新たな取組みを実施して参りました。さらに、会員皆様へのサービスを低下させることなく財政改善、2022年度には積立資産を取り崩さず収支均衡を実現するなど、将来への存続に向けて全身全霊を捧げて努めて参りました。これまでの実績を基に、会員皆様の目線に立って、会員皆様のお役に立ちたく取り組んで参ります。

■会員皆様主役の組織運営の復活！

JARLの主役は会員皆様です。皆様にご入会いただき、会費をお預かりして、組織運営を行っております。会員皆様が何を必要としているか、何を望まれているかを、アマチュア無線を実践しリサーチ、皆様のご意見を組織運営に反映するなど、これまで会員皆様が主役、会員皆様第一の組織運営に努めて参りました。さらに関係機関や関係の皆様とも連携を密にし、会員皆様がアマチュア無線を快適にお楽しみいただけるように、取り組んで参りました。これらをベースにさらに積極的に取組んで参ります。

■QSLカードの迅速転送並びに会員サービスの復活！

QSLカード転送はJARLの1丁目1番地、会員皆様への重要なサービスです。会員皆様がアマチュア無線を快適にお楽しみいただけるようにQSLカードの迅速転送を復活させます。さらに、突然に廃止されたQSOパーティのお年玉プレゼント企画、好評で参加者も大幅増とアマチュア無線並びに組織の活性化にも繋がっておりました。皆様に喜んでいただけたこの企画を突然廃止、これひとつ見ても会員皆様の軽視した運営といえます。会員皆様の視点に立って、会員皆様主役の組織運営、サービス企画の復活並びに向上に努めて参ります。

■会員皆様第一の組織に活性化！

将来に存続できるJARLにと、組織の活性化、会員増強に注力し、ご入会の促進・継続、将来を担う方々のお試し入会の創設運営、アマチュア無線の魅力を幅広く伝え、将来に存続できる組織にと努めて参りました。会員皆様の立場に立った組織運営で組織を活性化させます。

以上、ご高覧くださりありがとうございました。JARLに対する貢献等の詳細につきましては、右のQRコードからお願いします。JG1KTC 高尾 義則 に、お力をお貸しください。ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。



令和6年通常選挙 全国の区域内の理事の候補者

■全国の区域内の理事の候補者

- ①コールサイン : J L 1 A L E
②氏名(フリガナ) : 菊池 宏 (キクチ ヒロシ)
③年齢 : 59歳
④職業 : 会社経営
⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

中学校1年生で資格を取得さらに、海外との交信をするために、ステップアップしながら、開局から47年たちました。その間、千葉県支部長を4期8年、監査指導委員長を9年間支部活動と、ニューカマー育成、養成講習会の講師等に努めてきました。現在は、8N1CS70Yの運用や、災害時の協定を結び、アマチュア無線をPRしています

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

“実行と改革” ぜひお力を！ そして無駄な支出の削減し会員サービス重視

以下 第70回議題として提出しましたが、なぜか協議事項に格下げになり内容が公表されず今回公表いたします。(協議事項 6. QSLカード転送遅延の件)

現在月平均、70万枚～80万枚のカードがビューローに到着しているとのことで、

70万枚を仮定として、QSL削減のPRによる協力により、1か月に10%削減(7万枚)できたとして試算しました現在、到着してから12か月かかるので、現在のビューローの在庫は、 $70万枚 \times 12か月分 = 840万枚$ 程度と予測できます。

在庫をさばくために、在庫840万枚/削減分7万枚=120か月 約10年かかる計算になりJARL会員の平均年齢も60歳後半ということで、電子QSL化は厳しい面も会員からも聞こえてきます。JARLサービスのQSL転送なくして会員の増加は見込めません前回、議案のあった一時外注化を再検討し、一時的なものであって、膨大な在庫がなくなった時点で、打ち切る。また、せっかく入会した、ニューカマーや、復活した新規入会者たちにQSLが一枚も届かず、1年もの間カード転送のサービスを受けずに、退会する局も多数出ると予想されます。

会員資格は無くなってもQSL転送は半年間だけ延長し、再一度入会も促したい。

2. 「覚書事項」の宿泊代自己負担の一部改正について

役員旅費規定に基づき 8,500円を支給し、これを超える宿泊代を自己負担するには

反対させていただきました。理由として 理事 監事含め 総数 19名として(年4回開催)計算すると、 $19名 \times 4回 \times 8,500円 = 646,000円$ となる

以前は自己負担にしていたものをJARLの負担にするのも、財政の改善をするに逆行している。その他、前会長が行っていた、経費削減がなぜと思う行事内容(ハムフェアのアイボールミーティング・年末のアイボールミーティング)役員は有料から無料など多数見受けられています 会員重視の目線で提案したいと思っております ご支援をお願いします。

令和6年通常選挙 全国の区域内の理事の候補者

■ 全国の区域内の理事の候補者

- ①コールサイン : **JH3GXF**
アビコ サトシ
- ②氏名(フリガナ) : **安孫子 達**
- ③年齢 : 68歳
- ④職業 : 会社役員
- ⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

略歴

- 1970年 JH3GXF開局
 1994年 兵庫県支部役員
 1995年 阪神淡路大震災でボランティア活動
 1996年 兵庫県支部長 3期6年
 1997年 兵庫県尼崎市でKANHAMを開催
 2006年 JARL.COM, QSObankの立上げに参画
 2007年 JARL評議員 3期6年
 2010年 JARL寝屋川臨時総会議長団
 2012年 JARL池田総会議長団
 2012年 JARL社員
 2014年 JARL全国区域の理事

力を入れている無線活動

コンテストや移動運用
 DXやデジタル通信
 アンテナや周辺機器の自作
 内外のアマチュア無線家との交流
 ARISSスクールコンタクトの応援

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

電子QSLやネットによる会員サービス構築で財政の健全化。
 青少年のための会員制度を見直すこと。
 免許制度のさらなる簡素化や周波数の拡張などの推進。
 社会貢献を通じてアマチュアのステータスの向上。
 新しいアマチュア無線の楽しみ方を創造する。
 災害時などに社会貢献できる体制を作ること。

阪神淡路大震災での兵庫県支部で行ったボランティア活動をきっかけに大好きなアマチュア無線の社会的ステータス向上が必要と感じて活動して参りました。しかし、最近までのJARLには、その頃の魅力が全くない組織になってしまいました。

こんな組織にしたのはいったい誰なのでしょう！私が6年以上前に議案として提出した電子QSL案も見せかけだけの委員会を作るだけで実際は全く進展していない状況でした。もっと早く立ち上げていれば信書問題も起こらなかつたではと思います。私は電子QSLで転送制度の改善と新しい無線の楽しみ方が創造出来ると考えています。また、KANHAM(関西アマチュア無線フェスティバル)の立ち上げに関わったときに感じた行政との信頼関係の重要さや仲間との連帯感の大切さを今のJARL事業に生かしてゆきたいと考えています。見かけだけの会員増強キャンペーンでは会員は増えません。会員自身がアマチュア無線は面白い、やって良かったと思えるようになれば自然と仲間は増えてゆくものだと思います。アマチュア無線の未来のために、JARLにも変革が必要です。

JARLはアマチュア無線の権益を守るための団体です。JARLを本来の姿に戻すのは、皆様の投票の積み重ねです。会員の皆様がJARLの運営に関心を持っていただくことが今後のJARLの発展につながります。

**あなたの一票でJARLが変わります。
 ご支援よろしくお願い申し上げます。**

■全国の区域内の理事の候補者

- ①コールサイン : JA4DLF
 ②氏名(フリガナ) : 楠 篤 後 昭
 ③年齢 : 76才
 ④職業 : 無職
 ⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ① DX局との交信
 ② コンテスト参加
 ③ WIRES-Xのノード局運用
 ④ 地域クラブ局会長として、体験局運用(令和6年度再開)

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- ① JARLはARRLに次いで、世界第2のアマチュア無線大国の連盟です。私は、JARLを多くの国の連盟の中で、名誉ある地位を占め、会員の皆様が加盟することに誇りを持つる連盟にしたいと考えており、IARU並びに他国の連盟等と積極的交流し意志の疎通を図り、ARRLに次ぐリーダー的な立場を目指します。
- ② 昨年実現した民主的な体制を更に強固なものにし、対立を解消するための対話を継続するとともに、情報開示を進め、会員の皆様に納得して頂ける組織運営に努めます。そのために定款・規則等の改正に積極的に取り組みます。
- ③ 近年、電波行政は大きな変革期を迎えており、電波需要は年々増加しています。こうした全般状況を尊重しつつ、アマチュア無線家の権益を最大限守るため意見を発信し、その実現に努力致します。
- ④ 長年の赤字体質を改善するため、JARLニュースの電子化、理事会委員会、地方本部会議等にZOOMなどを活用して交通費等を削減、出張等の見直しによる経費の節減を提案します。また、現在すでに実施しているQSLカードのeQSL化による紙カードの削減を推進するとともに、会員の皆様に納得して頂ける会費・転送料の検討を提案致します。
- ⑤ 私は、長年の会員・役員としての経験から、会員の皆様と事務局との間には少し距離があると感じております。これをより近い関係に改善するため、各地方本部や大規模県支部の1人1人の集いなどに事務局員を派遣し、直に会員の皆様と触れ合うことにより、一層血の通った相互関係の緊密化を図りたいと考えています。

令和6年通常選挙 全国の区域内の理事の候補者

■ 全国の区域内の理事の候補者

- ①コールサイン : 7K1B1B
②氏名(フリガナ) : 山内貴博(ヤマウチタカヒロ)
③年齢 : 54歳
④職業 : 弁護士・弁理士・米国ニューヨーク州弁護士
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士、米国 Amateur Extra



力を入れている無線活動 **詳しくは→[ブログ 7k1bib.wordpress.com](https://7k1bib.wordpress.com/) / [Twitter \(現 X\) @7K1B1B](https://twitter.com/7K1B1B)**

①アマチュア無線の裾野を広げる活動に力を入れています。8J1YAB, 8J1YA0の開局・運営に関わり、地元クラブでの体験運用も。②海外からの運用は16エンティティから20回以上。③テーマ性のある移動運用が好き。「#駅前QRV」は実は私の命名。最近はPOTAも。④自宅の設備は釣竿+ATUでHFはJT65時代からデジタルに力。D-STARもDMRもC4FMも。自宅ノード立ててます。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

①**弁護士としての知識・経験を惜しみなく投入し、組織運営の透明化・活性化に貢献します。**会計帳簿開示裁判により、前会長時代の使途不明金(「会長 打合せ」と称する飲食費など)の存在が明らかになりました。前会長は執行部を去りましたが、このような不祥事が二度と起こらない体制作りを進めます。もうあの時代には戻してはなりません。

②**地方本部・支部の活動を支援します。**選挙で当選した地方本部長が社員総会で否認されないように、「地方本部長選挙」創設を提案・実現しました。次は「地方本部・支部長会議」の創設を提案します。地方組織の活性化が、JARL全体の活性化に必ずつながると信じています。

③**JARL本部の立案能力・事業執行能力を強化します。**新しい委員会(「法務・パブコメ対応」「広報」「オンラインイベント実行」等)を提案して「委員会」活動を活発にし、自分も働きます。全国レベルで活躍されている方々が社員総会に参加できるように「全国区社員」を提案します。専門的な能力と意欲のある方がもっと「理事会」に参加できるようにし、働く理事会にします。

④**JARLの広報体制を総合的に見直します。**見にくいJARL Webを全面的に作り直します。JARL Newsに行事の事後報告をまとめ、見やすい電子化を進めます。メールマガジンは無料にして、これからハムを始めたい方、JARLから離れてしまった方にも送ります。JARLはビューローだけが価値と聞くと私はとても悔しい。広報を通じて活動を知ってもらい、JARLの価値を高めます。

⑤**JARL100周年を超えて、JARLを未来につなげます。**お金の使い方を全面的に見直し、未来への投資に回します。QSLビューローはなくしません。存続のために動きます。

私はJA5SUD森田耕司会長の「積極的な活動と情報発信」「組織運営の透明化」を2本の柱とし、クリーンな事業運営を行うというご方針を全面的に支持します。昨年8月の「参与」拝命後、会長と理事会のお近くで微力を尽くして参りましたが、立場の限界を感じ、この度**理事に初挑戦致します**。アマチュア無線界には、意欲と能力と魅力のある方がたくさんいらっしゃることを私は知っています。**JARLとアマチュア無線界をよくするために、皆さんと一緒に汗をかきたいと思います。私はそのための「捨て石」になる覚悟です。**

★3月にZOOMで意見交換会を開きます。詳細はブログにて。皆様ぜひお越し下さい★

令和6年通常選挙 全国の区域内の理事の候補者

■ 全国の区域内の理事の候補者

- ①コールサイン : JH1XUP
②氏名(フリガナ) : 前田 吉実 (マエダ ヨシミ)
③年齢 : 77歳
④職業 : 会社役員
⑤無線従事者資格 : マア

力を入れている無線活動

DX 及び アワード
ローカルのクラブ活動。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

現在の JARL は様々な問題を抱えており早急に立て直しを求められています。

大きな問題は財政です。会員が減少の傾向にあるのでこれに歯止めをかけるためにアマチュア無線をやっている人たちに向けて魅力的な方策が必要です。

方策を考えるときに無線家も様々な人がいて、技術的な興味で無線をやっている人、国内交信が好きな人、DX が好きな人、アワードが好きな人、CW が好きな人等多様です。JARL としてはそれらの人向けに JARL に入っていると得になる新たな話題の提供を行えば、皆参加してくれると考えます。

38万局の無線局のなかでおよそ6万局の JARL 会員を10万局に増やす方策を考えたいと思います。

また財政黒字を目指すためにまず経費の切りつめがどの程度可能かを検討します。

これらを行うための財政再建委員会を早急に立ち上げます。外部の有識者をいれて

話し合しましょう。今の QSL ビューローの在り方やビューローの合理化を出来ないか？

島根で良いのか？JARL の事務所が今のままで良いのか？年間の賃料の見直しも課題です。

赤字財政下で賞与を払うことに対して問題はないので？事務局そのものの活動を更に経費削減できないか？等検討すべき課題は多くあります。

さらに総務省との関係においてもっと良い関係を構築し、そこにビジネスが生まれ

るか？収入が厳しいのであれば一般的に収入を得られるビジネスを始められないのか？

など財政の健全化、黒字化に向けて真剣に議論したいところです。

私は理事になってこのような話題を具現化させるために全力で行いますので宜しく
お願いします。